

A.J.U

～すべての障害者に社会的自立を！～

1980 第123号

今年も3月に行ってきました！施設見
学旅行！！

かの有名な、滋賀県のびわこ学園を訪
問させていただき、「この子らを世の光
に」とおっしゃった糸賀一雄先生の思想
を改めて学ばせていただきました。

そしてその後は・・・彦根城に黒壁ス
クエア、近江牛にバウムクーヘン・・・
みんなしっかり食べて、しっかり楽しん
できました。



➡ ゴールデンウィークには、トレーニ
ングキャンプを行い、長野の大芝高原に
行ってきました。

自然がいっぱいの大芝高原を利用して、



ウォークラリーを行ったり、
バーベキュー場でお昼ごはん
とおやつを作ったり、恒例の
キャンプファイヤーで火を体
感したり・・・自然を満喫し
てきました。

みんな集まれ～！！

7月23日（土）

臨海学習



平成二十八年五月三十一日(毎週火曜日) AJU通関一三三増刊 昭和五十四年八月一日第三種郵便物認可

'16 わいわい がやがや 「1980」交流会

～みんなのそばで暮らしたい～

平成 28 年 4 月 23 日

毎年恒例の 1980 後援会総会を山形県守山スポーツセンターにて行いました。総会では、1980 後援会の各団体及び委員会より、平成 27 年度活動報告及び決算、平成 28 年度活動計画及び予算の発表がありました。以下に概要を掲載いたします。

総会終了後は、福祉ホーム愛&小幡緑地公園本園にてバーベキュー大会&レクリエーション大会を行いました。メンバーの皆さん、総会に参加された皆さん、学生ボランティアの新生生の皆さん、たくさん食べて、たくさん楽しんでいただけましたでしょうか？



以下に、1980 後援会の平成 27 年度決算報告書の概要を掲載します。

1980 後援会 平成 27 年度決算報告書（概要）

収 入		支 出	
寄付	930,405	事務局	5,415
賛助会費	330,000	広報	15,550
バザー	215,021	寄付	1,030,000
廃品回収	117,478	おでん	48,116
雑収入	249,080	雑費	13,957
前年度繰越金	302,991	次年度繰越金	1,031,937
合 計	2,144,975	合 計	2,144,975

構成団体及び平成 28 年度活動予定

心身障害児・者の療育、作業、自立施設を作る会「1980」

(定 例 会) 年 3 回開催

(資 金 作 り) バザー：年 5 回開催

廃品回収：毎月第 4 木曜日開催

地域ボランティアサークル サラダボウル

※現在、代表が病氣療養中のため、活動を休止しております。

重度障害者を支える会

1. 平成28年1月2日 総会開催（済み）
2. 会報「もういかん」の季刊発行
3. 会員用メーリングリストの運営

学生ボランティアサークル「おでん」

- | | |
|---------------------------|----------|
| ① “どうだでよう” への
ボランティア参加 | ⑤ 林間学習 |
| ② トレキャン（4月29日～5月1日） | ⑥ クリスマス会 |
| ③ でてきな祭 | ⑦ 新年会 |
| ④ ショートステイ | ⑧ 新歓 |
| | ⑨ 卒業式 |

各実行委員会及び平成28年度活動予定

実行委員会 “広報”

1. 会報作成・発送（発行月：5月・9月）
2. 年賀状の作成・発送
3. 賛助会員（賛助会員名簿管理・新規会員募集等）
4. 寄付（寄付募集）
5. イオン守山店 黄色いレシートキャンペーン（継続参加）

実行委員会 “資金作り”

- 廃品回収 月1回実施
- バザー ・白沢溪谷桜まつり ・でてきな祭 ・白沢盆踊り大会
・元気まつり守山 ・福祉まつり

実行委員会 “でてきな祭”

【目的】 お祭りを創りあげていくことを通して、人づくり・人と人とのつながりづくりを目的とする。

1. 誰もが主役になれるお祭
2. 人と人とがつながるお祭
3. みんなで創りあげるお祭

【開催日時・場所】 平成28年5月14日（土）9:30～14:00 小幡緑地 本園

【企画概要】・ウォーキング

・きよろきよろわーど ☆屋台村 ☆ステージ ☆フリーマーケット

各団体・委員会より

心身障害児・者の療育、作業、自立施設を作る会「1980」

平成3年8月、重い障害を持った子どもの親たち3人が我が子の将来を思い、集まりました。そして、1980がスタートしました。

バザー、廃品回収、内職等で資金集めを、研修会、勉強会で制度について学び、支援者を集めたりと、子どもとともに歩んできました。

紆余曲折の末、平成17年12月、法人認可を受け福祉ホーム愛ができ、5人のメンバーが自立生活をスタートしました。同時期に、制度も自立支援法、総合福祉法と大きく変わり、お母さんたち家族の方の考え方も大きく変わりました。多くの方が親の会をはじめとするいろいろなつながりを必要とされなくなりました。以前のように親の方たちが集まり、子どもたちのことを共に考え、行政の方たちにも働きかけをする必要がなくなったのです。仕組みが変わり、誰でも基準を満たせば事業所を起こせ、お金が入ってくるようになりました。利用者の方もスイーツのお店を選ぶように、自分の好みに合ったお店を選べばいいのです。ただ、残念なことに、それが親の方たちの好みだということなのです。

さて、1980を代表する(?)8人のお母さんたちは、集まる度、「あそこが痛い」「ここがおかしい」と言いつつ、頑張っています。(代表：久留島光保子)

重度障害者を支える会

重度障害者を支える会は、「重度の障害を持たれた方々を応援したい!」という社会人の集まりです。

皆、社会人なので、仕事や家庭の都合でなかなか参加が難しいこともありますが、できな祭やクリスマス会など、可能な限り1980の各種行事にボランティアとして参加しています。

そんな時、久しぶりに会う1980の障害を持たれたメンバーに自分のことを覚えてもらえたり、声をかけられたりするとうれしくなります。また、メンバーのがんばっている姿や以前より、ほんの少しだけ前に進んでいる様子を目の当たりにすると、自分も「もう少しやれる気がする…」と逆に励まされたりしています。

毎年1月2日には、総会を行い、1980のメンバー、親の方、職員と交流を行っています。総会は、重度障害者の方々の地域生活の現状を知り、重度障害者を支える会としての支援のあり方について話し合う場です。

それと同時に、総会は1年ぶりに集まってそれぞれの「今、がんばっていること」についてお互いに話をし、刺激を受け、自分自身を見つめ直す良い機会となっています。

これからも、それぞれの仕事や家庭等、社会での経験を生かし、それぞれが可能な方法での支援を行って行けたらと考えています。 (書記：足立由紀)

学生ボランティアサークル おでん

学生ボランティアサークル「おでん」は、現在、様々な大学の学生9人で活動をしています。

活動内容としては、毎週土曜日に障害を持ったメンバーとプールやお出かけ、調理、季節のおたのしみ等をおこなう「どうだでよう」への参加、キャンプやショートステイ、クリスマス会といった大きな行事の企画・運営があります。また、「どうだでよう」の後にミーティングをおこなって、活動の反省や、行事に向けての準備、自分たちに足りないものを補うための企画を実施したりしています。

最近の活動を振り返って、おでんは「もっとやれるのではないかなあ」と思えることが多いです。みんながもっと意欲的に取り組み、そこから感じたことを他のメンバーに向けて発信して、「もっとああしたい」、「こうありたい」、「どう思う？」と活発な話し合いややりとりができたらいいなあ……。そうしたらおでんがもっと楽しく、いい場になるのではないかなあと思い、その目標に向かって頑張っています。

(担当職員：亀井克司)



資金作り

平成27年度 後援会の資金作りでは年5回のバザーを予定していましたが、うち2回が雨により中止となってしまいました。

資金作りのメンバーは職員2名と親の方で構成されています。

面白いことに、毎回バザーが終わると売り上げに一喜一憂し、「今回ソフトアイスをもっと仕入れておけば、売れたよね。残念。」「次回はもっと仕入れて儲けよう!。」という声があがります。「このバザーは他にも店がでるから、こっちの商品のは売れる。」など作戦タイムが自然と始まります。口では、「しんどい!」「大変」といわれていたのに、結構楽しんで資金を集めてくださっているんだな~と思いながら、もくもくと私は売り上げの小銭を数えさせてもらっています。

「我が子のために、頑張って資金を集めよう!」と楽しみながら踏ん張ってくださるお母さん方の姿を頼もしく思い、職員としても力を合わせて頑張りたいと思います。今年度も資金作り軍団は活躍中です。機会がありましたら、ぜひ一度「1980」のおいしい玉せん・ソフトアイス・綿がし等をご賞味ください。

(資金作り担当：亀井あゆみ)



広報

広報としては、主に会報の発行、年賀状の作成、イオン守山店のイエローシート

活動等を行っています。

1980を知って頂いている方、応援して頂いている方々に、どのような形で1980の現状をお伝えするのか、どのような内容が分かりやすいのか…自問自答しながら作業を行っています。また、そうして、普段の活動を振り返ったり、考え直したりすることで、原稿を書いている職員自身も勉強させていただいております。

今年度からは、会報の発行が年4回から年2回に減ってしまいましたが、その代わりに、それぞれの事業所で年に数回、活動内容等をわかりやすくお伝えする広報誌を発行する予定です。

それから、最後に・・・毎月11日にイオン守山店にお買い物に行かれた際には、1980のボックスにイエローレシートを入れていただけますよう、ご協力をよろしくお願い致します。
(広報担当：足立由紀)

できな祭

～〇〇〇〇、できなさい！～

平成28年5月14日(土)、たくさんの人に助けていただき、「できな祭2016」を開催することが出来ました。私たちの足りないところを、たくさんの方たちと、お日様に助けていただき、「できな祭2016」は、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。

平成28年5月14日(土) 9:30～14:00

小幡緑地 本園 芝生広場

天 候：快晴

来場者数：約700人

もりやまうおーく 参加者：約200人

きよろきよろワールド☆屋台村 出店数：13ブース

きよろきよろワールド☆ステージ 出場団体10団体

きよろきよろワールド☆フリーマーケット出店数：49ブース

スタッフ：93名

後 援：名古屋市教育委員会、公益財団法人愛知

中日新聞守山販売店連合会、守山ホームニュース、社会福祉法人1980

協 賛：26団体、個人35名



「できな祭」というお祭りは、さまざまな願いでつくられています。

人と人が関わることの、本来のおもしろさを一人でも多くの人に伝えたいという願い。

頑張ろうと思う人が頑張れて、その人たちの頑張れる場所を作りたいという願い。

人の生き方の、新しい可能性を示したいという願い。

きっと無理だ、やれっこないという蔓延する閉塞感を打破したいという願い。

自分が頑張ろうと思ったことを、やり通す心の強さを持ち続けたいという願い。



2008年から継続して(注1:その前は守山区役所で開催もしていましたが)、小幡緑地の本園をお借りして開催しているこのお祭りも、気づけば9年目を迎えました(注2:雨天中止がおよそ2回)。言わば、勝手に始めたこのお祭りです。いろいろな人に話を聞いてもらいに、頭を下げに回りました。お金はありませんので、熱意しかありません。最初は無関心であった皆さんも、何度も足を運ぶうちに、次第に話に耳

を傾けてもらえるようになりました。「テーブルを貸すよ」「いくらなら出せるんだ。その額で引き受けるよ」など、応援してもらえる方たちも、おかげさまで増えてきました。「人と人がつながるお祭り」と言うのは簡単ですが、その大変さも、その計り知れない心強さも、身に染みて経験させていただきました。

来年に向けて、実行委員を募集しています。何もしなければ、大変なこと、嫌なことも起きないけど、うれしいこともないかもしれません。大変なことの方が多くけど、うれしい瞬間もある、そんな瞬間を一緒に味わいませんか。ご連絡お待ちしております。



(できな祭担当:小池征司)

ご協力、ありがとうございました!!

平成27年度 賛助会員

亀井 年一	水野 俊一	尾関 基	和田 芳楠	酒井 富士子
宮田 一弘	加藤 陽子	高見 ちなみ	服部 静治	伊藤 重己
神谷 登志子	荒谷 克己	水谷 恵子	後藤 邦彦	西村 琴野
大塚 登美子	藺田 敏子	森重 富江	池田 直浩	鍋倉 賢二
今枝 正行	茗荷 須美子	鈴木 舞子	高桑 嘉子	丹羽 昭子
井上 拓也	浜田 葉子	久留島 自翔	並川 和啓	杉浦 明美
横山 暁一	上高 未晴	塚本 幸子	加藤 智也	赤塚 紫帆
亀井 あゆみ	沓名 明日香	西岡 慶樹	山本 明利	守田 歩
立木 翔治	鈴木 基正	今津 直樹	今津 文香	岩田 由美子
亀井 克司	石川 敬三	金子 正	金子 由香里	川村 皓生
横井 宏昭	根木 英輔	根木 絵梨菜	小池 征司	足立 由紀
小池 麻衣子	足立 保	速水 恵子	河合 章好	河合 史子
丸尾 美樹	中村 文香			

(順不同・敬称略)

平成27年度 寄付

山内詩奈子 水野俊一 小池征司 (順不同・敬称略)

皆様のご厚情におこたえできますよう、一步ずつではありますが前進してまいりたいと存じます。これからも、よろしく願い申し上げます